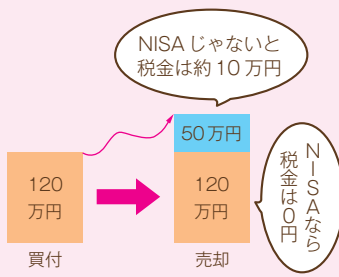


# NISA (少額投資非課税制度)

知らないで損！ 投資金額  
120万円 / 年まで非課税に

NISAとは、NISA口座  
(非課税口座) 内で、毎年一定  
金額の範囲内で購入した株式  
や投資信託などから得られる  
利益に税金がかからなくなる  
制度です。



## NISAの種類

『NISA』・『ジュニアNISA』・『つみたてNISA』があります。

### NISA

日本に住む20歳以上の人が対象。  
年間120万円まで投資が可能で、非課税期間は最長5年間です。株式や投資信託などの配当・譲渡益等が非課税対象となる制度です。  
投資総額は最大600万円まで。



### つみたてNISA

日本に住む20歳以上の人が対象。  
年間40万円まで投資が可能で、購入方法は積み立てに限られています。  
非課税期間は最長20年間と長く、購入できる商品は、長期・積立・分散投資に適した一定の投資信託に限られています。投資総額は最大800万円まで。一般NISAとの選択制です。

### ジュニアNISA

日本在住の0〜19歳の人が対象。  
原則として親権者等が代理で運用します。また、18歳(3月末日で18歳である前年12月末日)まで払出し制限があります。  
年間80万円まで投資が可能で、非課税期間は最長5年間です。制度終了後も20歳になるまでは非課税で保有可能。

## NISA口座で買えるもの・買えないもの

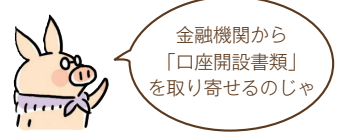
NISA口座で買える主なものは以下の4種です。買えないものも覚えておきましょう。

- 上場株式
- 株式投資信託
- ETF (上場投資信託)
- REIT (不動産投資信託)
- など

- 預金
- 個人向け国債
- 国債
- 外国債券
- 保険
- 社債
- FX
- など

## NISAをはじめるには

NISAを利用するときには、NISA口座の申込み手続きが必要です。NISA口座を取り扱っている金融機関で、1年に1人につき1つの口座が開設できます。



- 証券会社 (ネットもある)
- 都市銀行
- ゆうちょ銀行
- 地方銀行
- 信用金庫
- など

- 注意点**
- その年の投資枠の未使用分を翌年に繰り越すことはできません。
  - 売却していた空いた枠を再利用することはできません。
  - 他の口座で保有している金融商品をNISA口座に移すことはできません。
  - 損が発生した場合には、他の口座と損益通算することができません。

## 金融期間選びのポイント

- 取扱い商品**  
金融機関によって、取り扱う商品が異なります。投資したい商品を取っている金融機関を選びましょう。
- 手数料**  
株式の売買手数料や投資信託の申込手数料なども、金融機関によって異なります。しっかりとチェックしましょう。
- 相談窓口**  
大きく分けて『対面』と『ネット』があります。コールサービスや対応している曜日、時間帯も確認しましょう。